

平成25年7月13日(金)
秋田さきがけ新聞

秋田南高で学術顧問塾 研究、ビジネス身近に

県内高校OB講義 BDF作りにも挑戦

県教育委員会主催の「学術顧問塾」が12日、秋田市の秋田南高校(佐藤健公校長)で開かれ、研究やビジネスの分野で活躍する5人の学術顧問が講義を行った。



竹内教授(左)の指導を受けてBDFを作る生徒たち

野で活躍する5人の学術顧問が講義を行った。学術顧問は、国内外で活躍する県内高校OBを対象に県教委が委嘱。高校生に将来への高い志を持ってもらうため、講演会などを開いている。この日は1年生276人が5班に分かれて講義を聞いた。

このうち、山梨大工学部の竹内智教授(環境科学、本荘高卒)は植物油を再利用してバイオディーゼル燃料(BDF)を作る実験を行った。参加した生徒40人は、「BDFの原料は、二酸化炭素を吸収する植物。地球温暖化対策への効果が期待される」と説明を受けた後、BDF作りに取り掛かった。材料のサラダ油やメタノールなどをペットボトルに入れて振り、湯で温めて完成。生徒たちは「身近な材料で燃料が作れるのはすごい」と話していた。

他に▽保坂武文さん(ホンダ社友、秋田南高卒)▽小笠原康悦さん(東北大学加齢医学研究所教授、横手高卒)▽吉村和就さん(元国連本部環境審議官、秋田高卒)▽井瀧正彦さん(野村資本市場研究所執行役員、能代高卒)の4人が講義を行った。(佐藤辰)